

I-資産

1 与信管理を実施する目的として、最も適切なものはどれか。

- a) 売上債権の計上を漏れなく行うため（網羅性）
- b) 売上債権の架空計上を防ぐため（実在性）
- c) 売上債権の期末での評価を適切に行うため（評価の妥当性）
- d) 売上債権の回収を確実にするため（安全性）

2 担保の説明に関して、最も適切でないものはどれか。

- a) 担保には、「物的担保」と「人的担保」がある
- b) 担保とは、債務者の特定財産が、法律上債権者の債権の引当になっていることをいう
- c) 「人的担保」には保証債務、身元保証、連帯保証、連帯債務、債務引受がある
- d) 「物的担保」には、抵当権は含まれない

3 受注契約の締結において当社に有利な契約となるための取引条件として、最も適切なものはどれか。

- a) 支払期限を短くする
- b) 解約予告期間を短くする
- c) 瑕疵担保責任期間を長くする
- d) 納品物補正可能期間を長くする

1 売掛債権管理 1.1 与信管理 正解：d

取引先の倒産や詐欺被害の当事者となること等により債権の回収が不能となれば、予定していた利益が得られないだけでなく、当該取引にかかったコストが全て損失となってしまうこととなる。このような事態を未然に防止するために、与信管理手続を実施する必要がある。

選択肢 (a)、(b)、(c) はいずれも、取引先の与信に起因するものではなく、自社内部のプロセスにおけるリスクを述べているものであり、適切とはいえない。したがって、正解は (d) となる。

1 売掛債権管理 1.1 与信管理 正解：d

担保とは、債務者の特定財産が、法律上債権者の債権の引当になっていることをいい、以下がある。

- ・物的担保（留置権／先取特権／質権／抵当権）
- ・人的担保（保証債務／身元保証／連帯保証／連帯債務／債務引受）

したがって、正解は (d) となる。

1 売掛債権管理 1.2 契約(受注) 正解：a

受注契約の締結において、以下の条件は当社に有利となる。

- ・支払期限を短くする（早期に売掛債権を回収できる）
- ・解約予告期間を長くする（急な解約を回避できる）
- ・瑕疵担保責任期間を短くする（責任を負う可能性が少なくなる）
- ・納品物補正可能期間を短くする（補正対応の可能性を減らせる）

したがって、正解は (a) となる。